

〈施設の運営理念〉人としての尊厳・自己決定を尊重し、安心安らぎの場を提供します。

西陣憩いの郷 だより

No. 17

2016.10.15



「秋の気配」

理事長 相馬隆人



若いころは四季の中で秋が一番好きでした。自分が誕生した季節ということもあります。秋の空気の透明感や引き締まった温度感などがたまらなく好きでしたし、落ち葉が枝から離れそれを夕日が照らすような、得も言われぬ寂寥感も自分の感性に合っているのだと思っていました。

ところが少し前から、秋の訪れをあまり喜んでいない自分がいることに気がつきました。それどころか近年、加速度的に進む暑くて厳しい夏に、身体はついていけないうせに不謹慎にももう少し傍にいて欲しいとまで思うようになりました。この思いは50歳を超えてさらに強くなりました。もしかするとこれは、自分の身体の衰えがそう思わせているのかもしれない。老眼が進み、動体視力が落ち、若いころの体力が望めなくなった今、秋の気配を老化の気配に自分で無意識に置き換えているように思えてなりません。

季節がめぐってゆくように、人生もいやでもめぐってゆく。じたばたするだけ無駄なのかもしれない。今年の秋は老化の気配を感じたとしても、平静の心でまたひとつ歳を重ねたいと思います。

―表紙の京野菜― 丹波産松茸

昔から丹波産の松茸は特に香りがよいと評判。秋の味覚の王様「松茸」は、土瓶蒸し、焼き松茸、松茸ご飯、お吸い物など食べ方も豊富。

ゆとりある人材確保と 安全・安心な施設づくりのために

平成27年度
事業報告

平成28年5月20日の法人役員会において「平成27年度の事業報告」(案)が審議され、承認されましたのでその概要をお知らせします。

冒頭に「西陣憩いの郷」が平成27年5月1日に開設10周年の記念すべき節目を無事迎えたことを伝えるとともに、老人福祉施設を取り巻く厳しい社会情勢のもと、本施設の開設以来、最も多くの退職者が出たことにより1階ユニットの一時閉鎖を余儀なくされるという状態に陥ったこと、そのため介護職員の処遇改善と離職抑制を図るための大胆な対応策を講じ、閉鎖ユニットの解消など安定した施設運営の回復に向けて懸命に努めている実情が報告されました。

◆決算状況の報告

サービス活動収益が5億4,798万円、サービス活動費用は4億8,398万円で増減差引額は6,400万円で、サービス活動外・特別・繰越活動増減差額を合わせた次期繰越活動増減差額は4億4,378万円となりました。昨年度より約400万円の増収になったのは介護保険利用限度額の基準変更に伴う利用者単価が上昇したことによるものです。詳しくは、後掲「事業活動計算書」「貸

◆楽しみながら食事をしていただくための取り組み

入所者にとって食事は1日の中で大きな楽しみであり、また生きる意欲につながります。入居者とともにカレー、肉じゃが、焼きそば、味噌汁や間食の蒸しパンなどをユニット内で料理しました。食事を通して季節を感じてもらえるよう、旬の野菜や果物を使用し、また年間11回季節のお弁当の提供を行いました。おせち料理、節分、雛祭り、クリスマスなど行事食の提供を行いました。天ぷらを調理師が目の前で揚げる天ぷらレクリエーションを行いました。シヨートステイでは週1回の選択メニュー食を楽しんでいただきました。年に2回、有名和洋菓子を召し上がっていただきました。

◆入居者の重度化に対応する取組み

●健康管理
●入居者健康診断 年1回実施
●83名の方にインフルエンザ予防接種を実施
●医療処置 胃瘻1名、常時吸引が必要な方0名、褥瘡処置2名
●誤薬事故予防対策
●平成27年度も配薬ボックスの個別化を実施しているにも関わらず、対象者の間違いによる事故が3件ありました。似た氏名のケースには別カードを設置して注意をより喚起するような工夫をしています。(事務長 山本 滋生)

借対照表」を参照ください。

◆入居者・利用者の概況

●平均年齢は、90・6歳でした。平成20年度からは横ばいで推移しています。
●認知症自立度(介護が必要な状態)の重度(Ⅲ)の方が60名と7割近くを占めています。認知症度の進行度合いは、年齢よりも個人差の方が大きいといえます。
●平均要介護度は3・9で、平成20年度からは横ばいで推移しています。

◆在籍職員の状況

●職員総数は、介護職員65名を中心に87名(兼務7名を含む)の体制となっております。
●前述のとおり介護職員の退職者の続出とともに新たな人材確保が非常に厳しい状況にあり、前年度の離職率(20・3%)との比較でも、27年度は32・07%と高くなりました。

◆介護の状況

●ケアの質の向上を目指し、専門知識・高度な介護技術の習得に努めました。
●「看取りケア」の知識や技術の習得に努め、積極的に推進しました。看取った方は11名。年度末の看取

りケア対応者は16名です。事故のない、安全で快適な暮らしの提供を目指しました。

(表)事故種別ごとの発生件数と割合

事故種別	件数	割合(%)
自己転倒	50	29.6
介助時転倒	1	0.6
自己すり落ち	25	14.8
介助時すり落ち	4	2.4
外傷発見	40	23.7
誤薬投与	3	1.8
破損	5	2.9
有害行為	0	0.0
誤嚥	2	1.2
紛失	5	2.9
離フロア	3	1.8
その他	31	18.3
そ 計	169	100.0

*市報告件数:3件(骨折2件、誤嚥1件)

◆日々の生活に楽しみ、生きがい、うるおいをもたらす様々な行事に取り組みました

■施設行事

●翔鸞小学校の子どもたちとの交流会、趣向を凝らした夏祭りなどのイベントや月1回の書道教室などに多くの利用者にご参加いただきました。

■ユニット行事

●北野天満宮などへの散歩や春の花見、リユニアルした動物園の見学、買い物、外食などに賑やかに出かけました。

■季節行事

●今年は実習生とともにお雛様を飾付けました。
●節分の豆まきには鬼に扮装した男性職員に豆の代わりに軽いボールを投げてもらい、厄払いをしました。

●クリスマス会や運動会などの行事を通じて、季節の移ろいを味わっていただきました。

■ボランティア

●フォークダンスや大正琴の演奏などボランティアによるレクリエーションを月1回ペースで7階ホールで開催しました。

「サービス向上委員会の進行状況」
●厳しい人員体制のため、物品管理、美化環境整備、喫茶班、排泄検討委員会などは例年に比べて活動量が少なくなっていました。

◆人材確保と人材育成に向けた取り組み

●施設内の「ユニットリーダー研修」は年間計画に基づき、施設管理や組織運営・危機管理に関するテーマなどを学習してきました。
●「OJT研修(新入職員6ヶ月研修)」の取り組みも9年目を迎え、採用6ヶ月後の「成果発表会」では、常勤者7名が発表しました。
●知識と技術の向上のため国家資格取得に向け、支援を行った結果、一定数の合格者を出すことができました。介護福祉士資格者45名(平成27年度末)

◆入居者の食事について

●入居者の食形態別状況については次のとおりです。

(表)食形態別状況

	H27年度末	H26年度末
普通	37	37
一口大	14	13
粗きざみ	12	19
きざみ食	23	24
極きざみ	0	0
ミキサー食	2	4
流動食	1	2
合計数	89	99

●普通・一口大形態は大きな変動なく、咀嚼、嚥下能力が維持できているといえます。
●療養食(心臓病食、糖尿病食、濃厚流動食)を提供している入居者に減少がありますが、療養食の提供により病態が改善できています。

貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

資産の部			
科 目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	286,827,985	322,564,497	△35,736,512
現金預金	211,156,116	239,064,869	△27,908,753
商品券	10,000	270,000	△260,000
事業未収金	75,655,289	83,018,922	△7,363,633
立替金	6,580	17,710	△11,130
前払金		192,996	△192,996
固定資産	1,518,572,132	1,527,246,468	△8,674,336
基本財産	1,329,736,982	1,384,807,024	△55,070,042
土地	549,000,000	549,000,000	
建物	780,736,982	835,807,024	△55,070,042
その他の固定資産	188,835,150	142,439,444	46,395,706
構築物	19,962,094	22,187,961	△2,225,867
車輜運搬具	1,886,757	2,368,329	△481,572
器具及び備品	5,020,966	8,211,133	△3,190,167
権利	119,000	119,000	
出資金	100	100	
退職給付引当資産	11,846,233	19,552,921	△7,706,688
施設設備整備積立預金	150,000,000	90,000,000	60,000,000
資産の部合計	1,805,400,117	1,849,810,965	△44,410,848

(単位:円)

負債の部			
科 目	当年度末	前年度末	増 減
流動負債	91,540,433	97,507,194	△5,966,761
事業未払金	23,999,146	29,956,127	△5,956,981
1年以内返済予定設備資金借入金	66,180,000	66,180,000	
預り金	19,659	154,801	△135,142
職員預り金	1,341,628	1,216,266	125,362
固定負債	600,226,233	669,586,291	△69,360,058
設備資金借入金	588,380,000	654,560,000	△66,180,000
退職給付引当金	11,846,233	15,026,291	△3,180,058
負債の部合計	691,766,666	767,093,485	△75,326,819
純資産の部			
基本金	242,055,000	242,055,000	
第一号基本金	242,055,000	242,055,000	
国庫補助金等特別積立金	286,788,485	307,293,857	△20,505,372
その他の積立金	150,000,000	90,000,000	60,000,000
施設設備整備積立金	150,000,000	90,000,000	60,000,000
次期繰越活動増減差額	434,789,966	443,368,623	△8,578,657
(うち当期活動増減差額)	51,421,343	△31,031,213	82,452,556
純資産の部合計	1,113,633,451	1,082,717,480	30,915,971
負債及び純資産の部合計	1,805,400,117	1,849,810,965	△44,410,848

(単位:円)

事業活動計算書

(自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)

事業活動計算書			
勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部			
収益			
介護保険事業収益	546,532,989	543,657,366	2,875,623
経常経費寄附金収益	1,450,000	260,000	1,190,000
サービス活動収益計(1)	547,982,989	543,917,366	4,065,623
費用			
人件費	316,793,214	297,077,576	19,715,638
事業費	73,670,473	77,179,285	△3,508,812
事務費	52,201,079	146,838,021	△94,636,942
利用者負担軽減額	539,048		539,048
減価償却費	61,287,488	61,131,368	156,120
国庫補助金等特別積立金取崩額	△20,505,372	△20,337,233	△168,139
サービス活動費用計(2)	483,985,930	561,889,017	△77,903,087
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	63,997,059	17,971,651	46,025,408
サービス活動外増減の部			
収益			
受取利息配当金収益	515,642	1,009,890	△494,248
その他のサービス活動外収益	1,921,259	2,145,247	△223,988
費用			
サービス活動外収益計(4)	2,436,901	3,155,137	△718,236
支払利息	10,545,105	12,159,394	△1,614,289
その他のサービス活動外費用	1,841,852	2,485,292	△643,440
サービス活動外費用計(5)	12,386,957	14,644,686	△2,257,729
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△9,950,056	△11,489,549	1,539,493
経常増減差額(7)=(3)+(6)	54,047,003	△29,461,200	83,508,203
特別増減の部			
収益			
施設整備等補助金収益		2,525,030	△2,525,030
特別収益計(8)		2,525,030	△2,525,030
国庫補助金等特別積立金積立額		2,416,360	△2,416,360
その他の特別損失	2,625,660	1,678,683	946,977
特別費用計(9)	2,625,660	4,095,043	△1,469,383
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△2,625,660	△1,570,013	△1,055,647
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	51,421,343	△31,031,213	82,452,556
前期繰越活動増減差額(12)	443,368,623	428,399,836	14,968,787
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	494,789,966	397,368,623	97,421,343
基本金取崩額(14)			
その他の積立金取崩額(15)		86,000,000	△86,000,000
その他の積立金積立額(16)	60,000,000	40,000,000	20,000,000
繰越活動増減差額の部			
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)+(16)	434,789,966	443,368,623	△8,578,657

特別養護老人ホーム
西陣憩いの郷
行事のご報告
平成 28 年 8 月・9 月



100 歳の
お祝い



京都市と京都府の職員の方が
お祝いに来ていただきました。



夏祭り



西瓜割りやヨーヨー釣りなど、
各階で趣向を凝らして夏祭りを
楽しみました。



地域の地蔵盆にお参り
させていただきました。

地蔵盆



書道
サークル



みなさんとてもお上手です！



平成28年6月19日 「父の日」



- ◆鮭ちらし寿司◆穴子の千草卵
- ◆肉団子のトマトソース和え
- ◆ごぼうと平天の山椒ゆめ煮
- ◆アスパラのグリーンサラダ
- ◆豆腐と湯葉の清まし汁◆パイ

人気の鮭ちらし寿司を弁当に詰めました。穴子の千草卵はしっかりと食べやすく彩りも綺麗です。

平成28年7月30日 「土用の丑」



- ◆うなぎ丼
- ◆菊菜の和え物
- ◆茶わん蒸し
- ◆清まし汁

「うなぎや!」「大きい鰻やね」「そうか、今日は土用の丑やったな」との声を聞いたとき、とても喜ばれました。

平成28年7月7日 「七夕」



- ◆七夕そうめん◆たらこふりかけご飯
- ◆茄子の揚げ出し
- ◆大根の水晶煮
- ◆七夕ゼリー
- ◆ところてん

そうめんは食べやすく、利用者様から「美味しいわ」との声をいただきました。ゼリーは可愛く、七夕を感じていただきました。間食のところてんも食べやすく、黒蜜が人気でした。

平成28年8月16日 「五山送り火」



- ◆大文字ご飯◆鱈の香草醤油焼き
- ◆豚肉と夏野菜のサラダ仕立て
- ◆茄子と油揚げの田舎煮
- ◆大豆といんげんのサラダ
- ◆花魁とみつ葉の清まし汁◆みかん缶

五山送り火の大文字山のように、ゆかりで「大」の字を書き弁当にしました。利用者様で、普段はスプーンを使用して喫食される方が、お箸を使用してきれいに召上がる姿が見られるなど食欲が湧く献立でした。

平成28年7月17日 「祇園祭」



- ◆しらすと豆の混ぜご飯
- ◆鱈の梅肉添え◆和風ミートローフ
- ◆冬瓜のくず煮◆夏野菜サラダ
- ◆花魁とみつ葉の清まし汁
- ◆ぶどう缶

祇園祭にちなみ鯉を提供しました。利用者様にはテレビ等で山鉾巡行やコンチキチンのお囃子を楽しんでいたとき、食事でも「鯉や、京都の祇園祭やなあ」との声も上がり、季節を感じていただきました。

平成28年8月5日～平成28年8月26日



- ◆焼きそば◆押し寿司
- ◆ベビーカステラ◆かき氷◆スイカ

各階ごとに夏祭りを行いました。人気の寿司やその場で焼く焼きそばがとても美味しく出来上がり、良い香りで食欲をそそりました。普段食事量の少ない方も沢山召し上がり、「美味しかった」「お腹いっぱいなるまで食べてしもた」など喜びの声も聞こえてきました。階によってたこ焼きを焼いたり、スイカカクテルを作ったり、利用者様に喜んでいただくこと職員と栄養士で案を出し合い、楽しい夏祭りになりました。

平成28年6月30日 「水無月」



- ◆水無月
- やわらかく食べやすい水無月を提供しました。



日本列島のあちこちで地震や台風、大雨による浸水被害のニュースが飛び込んできます。私たちは、どこか他人事のようにそのニュースを見ていないでしょうか? 『天災は忘れた頃にやってくる』もしもの時、慌てる事のないよう普段から準備しておく必要がありませぬ。

介護支援担当総主任待遇 横山 由記

防災訓練を行いました



西陣憩いの郷では、『もしも...』に備えて8月2日(火)、平成28年度新入職員をはじめ宿直者を対象に自主防災訓練を行いました。今回は、消化栓の設置位置や使い方などの基本事項を勉強しました。12月には消防署の方に来ていただいて避難訓練を行う予定です。このように毎年数回、防災訓練を行うことで、『もしも...』の時に慌てることなく、利用者様全員の安全が確保できるよう訓練していきます。

新介護長のご紹介

よろしくお願いします



介護長 大嶋 智陽子

6月1日付で介護長に就任しました大嶋智陽子と申します。私は関連病院の相馬病院に平成元年入職し、当時は看護学生でした。それから看護師主任、看護師長を経て平成28年5月まで、看護業務を行ってまいりました。この度、「西陣憩いの郷」におきましては介護長という大役を命じられ、当施設の「人としての尊厳、自己決定を尊重し、安心安らぎの場を提供する」という理念を常に胸に抱きながら、努めていきたいと考えています。

ここ「西陣憩いの郷」は、街中に建っています。それは、前理事長(故相馬隆臣先生)が街中に特養の施設を建てたいと望まれたそうです。なぜなら、ご利用者様には住み慣れた地域で、ご利用者様のご家族、ご縁者様にはいつでも訪ねて行きやすいようにという思いがあったからだといっていました。そういった思いを聞いて、施設のユニット名を見た時になるほど、すごいって思いました。ユニットの名称は1F「北野」2F「高雄」嵐山」3F「鳴滝」嵯峨」4F「御室」太秦」5F「衣笠」花園」6F「紫野」朱雀」7F「西陣」となっています。普段から聞きなれた名称で



夏祭りでパチリ。

でも身近に感じられるユニット名になります。そういった所からも、隆臣先生のこの施設に対する思いや愛情が感じられます。当施設の行っているユニットケアとは、自宅に近い環境において、他のご利用者様や介護スタッフと共同生活をしながら、ご利用者様一人ひとりの個性や生活リズムに応じて暮らしていただけるようにサポートすることです。ご利用者様個人のプライバシーが守られる「個室」と、他のご利用者様や介護スタッフと交流するための「居間(共同生活室)」があり、ご利用者様10人前後を一つの「ユニット」として位置づけ、各ユニットに固定配置された顔なじみの介護スタッフが、ご利用者様の個性や生活リズムを尊重した暮らしをサポートしています。1階から7階まで12のユニットがあるのですが、同じ造りと思えない程各ユニットは、ご利用者様の手作りの物や作品が飾られており、またご利用者様が好きな音楽が流れているため、ユニットごとにご利用者様の個性が感じられる雰囲気になっています。今後もご利用者様に心地よい時間や生活を提供できるよう、スタッフと共に一丸となって努めていきます。

未来のエキスパートたちへ 実習生の受入れ

生活相談員(社会福祉士) 山本 将人



社会福祉関係の座学(実習)

南米初のリオのオリンピックが残り、四年後の東京にバトンが渡されました。今回のオリンピックでも数々のドラマが生まれましたが、私はあの男子四〇〇メートルリレーが一番感動しました。選手一人一人は9秒台で走る人がいないにもかかわらず、37秒台の記録で銀メダルを獲得、日本中の誰もが感動したのではないのでしょうか。今、西陣憩いの郷では、毎年、様々な方面の方が研修に來られます。数年前までは、実習を受け持つ担当者も、自分の仕事だけでも精いっぱい、実習生をお預かりするなどの恐れ多いことでご辞退しておりました。しかし、社会福祉の分野だけでなく、あらゆる分野で、将来、明るい未来が開けているのかといえ、不安だらけだというのが実際ではないでしょうか。私たちは、少しでも明るい未来の手助けをするために、

未来のエキスパートを育て、次の世代にバトンを渡したいと思っております。このため、実習に來られる皆様に対し、事前の準備を行い、担当の先生と、「どのような実習をすべきか」と意見を交換させていただき、そのあと、オリエンテーション、事前課題の設定、実際の実習、終了報告会等を、チームとして取り組んでいます。たとえば、社会福祉士の実習であれば、相談業務を中心とするカリキュラムを多く取り入れていただきます。実際の面談業務を経験していただき、座学においては介護保険の仕組み、請求関連の実際、施設におけるケアマネージメント、入所申込みをされ、入所されるまでの一連の流れの理解など、利用者様側に立った実習を心がけております。絶妙に正しくバトンを受け渡すことが、安心できる未来へとつながります。「未来のエキスパートたちへ、次の世代を任せたい!」、それが今の私たちの思いなのです。



車椅子を使った実習風景

